

令和元年 11 月 5 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学事務局学生課
主幹 成瀬 陽子 052(872)5041
(名古屋市政記者クラブと同時発表)

名古屋市立大学開学 70 周年記念イベント NCU アジア拠点校シンポジウム 2019

本学は、2020 年に開学 70 周年を迎えることから、開学 70 周年に向けて各種記念事業を進めています。この度、同事業のイベントとして本学の海外拠点校から研究者をお招きし、NCU アジア拠点校シンポジウムを開催いたします。

つきましては、本シンポジウム及びサテライト講演会についてご案内するとともに是非ご取材いただきますようお願いいたします。

記

NCU アジア拠点校シンポジウム 2019

- 1 日 時 令和元年 12 月 5 日 (木)、6 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00
- 2 場 所 名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3 階 大ホール
- 3 テー マ アジアにおける社会衛生環境・生物多様性保全の SDGs と都市問題
Think about SDGs on Public Health and Bio-Diversity at Urban Environment in Asia
- 4 対 象 者 本学及び協定校の教職員・学生

サテライト講演会

- 1 日 時 令和元年 12 月 7 日 (土) 10 : 30 ~ 12 : 30
- 2 場 所 名古屋市立大学桜山 (川澄) キャンパス
医学研究科・医学部研究棟 11 階 講義室 A

- 3 内 容 SDGs（エスディーズ）持続可能な開発目標達成のために、科学ができることについて講演します。

春日 文子氏

国立研究開発法人国立環境研究所特任フェロー
フューチャー・アース国際本部事務局日本ハブ事務局長
東京大学未来ビジョン研究センター客員教授

- 4 対 象 者 どなたでも

- 5 定 員 当日先着 180 名（入場無料・申込不要）

【参考】海外拠点校（2019年10月現在）

- ・ ハジエテペ大学（トルコ）（2015年11月）
- ・ ハルリム大学（韓国）（2016年7月）
- ・ サント・トーマス大学（フィリピン）（2017年2月）
- ・ プリンズオブソクラー大学（タイ）（2019年2月）

※ご取材の申込

事前に別添取材申込書により、FAXにてお申し込みください。

（なお、できる限り公共交通機関等をご利用くださいますようお願いいたします。）

(1) 申込締切：令和元年12月4日（水）午後5時まで

(2) 申 込 先：名古屋市立大学事務局学生課国際交流係 FAX：052-872-5044

(3) 問合せ先：同上 TEL：052-872-5041

あて先：公立大学法人名古屋市立大学事務局学生課 行

FAX:052-872-5044

日付：令和元年 月 日

NCU アジア拠点校シンポジウム 2019

取材申込書

貴社名

連絡先（※当日連絡がとれるもの）

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

取材者 氏名（ふりがな）	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
5.	記者 カメラ その他
備考	

NCUアジア拠点校シンポジウム2019サテライト講演会



地球環境変化の中で 健康をまもる

— SDGsへの科学的貢献を通じて



2019年

12/7 土

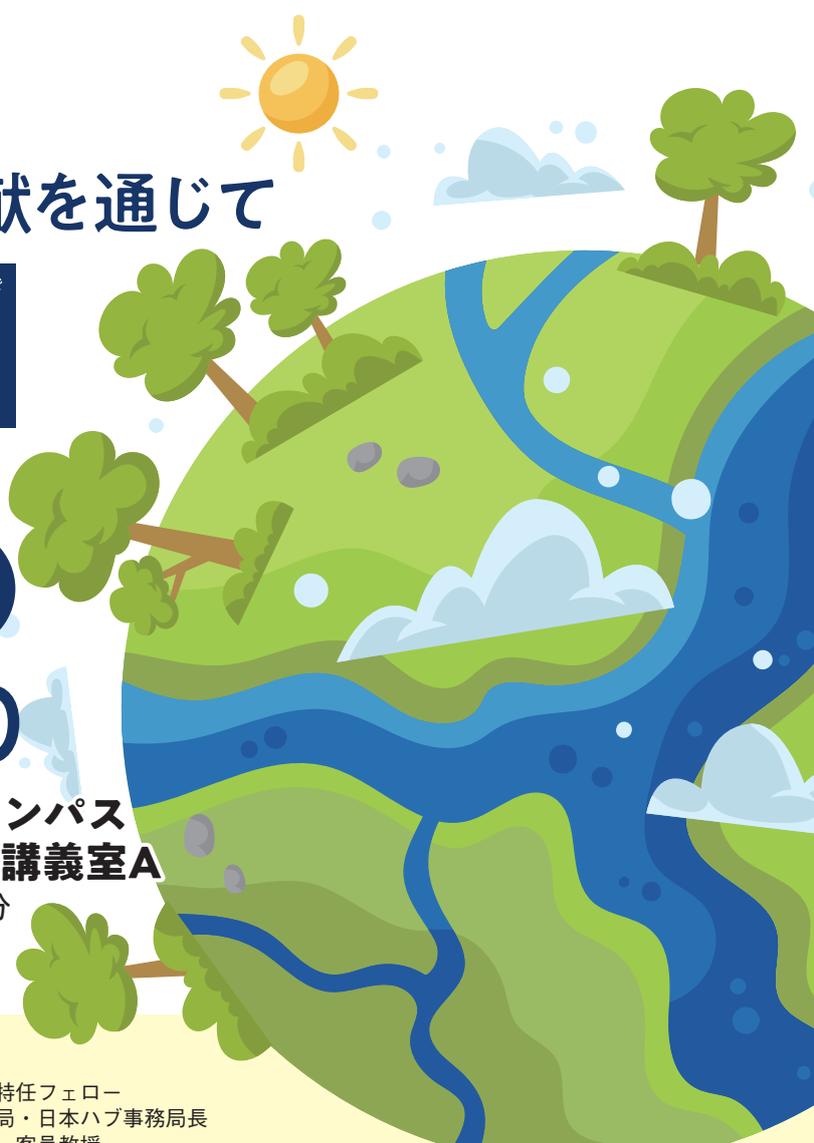
入場
無料

申込
不要

▶▶▶ 10:30~12:30

場所 名古屋市立大学 桜山(川澄)キャンパス
医学研究科・医学部研究棟 11階 講義室A
地下鉄桜通線「桜山」駅 3番出口より徒歩3分

定員 当日先着180名 (入場無料、申込不要)



春日文子

国立研究開発法人国立環境研究所・特任フェロー
フューチャー・アース国際本部事務局・日本ハブ事務局長
東京大学未来ビジョン研究センター・客員教授

東京大学大学院農学系研究科博士課程修了後、国立感染症研究所を経て、2012年4月～2016年3月まで国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長。獣医師。食品安全、特に微生物学的リスク評価と食品由来疾患疫学の研究に携わり、WHO、FAOの専門委員も務める。2011年10月～2014年9月まで日本学術会議国際活動担当副会長、2014年10月より同会議連携会員。文部科学省科学技術・学術審議会委員、福島県「県民健康調査」検討委員会委員、他。2015年5月よりフューチャー・アース国際本部事務局・日本ハブ事務局長。2016年4月よりその他現職。

主催 名古屋市立大学

後援

名古屋市、(公財)名古屋国際センター
朝日新聞社、中日新聞社、中部経済新聞社、
日本経済新聞社名古屋支社、毎日新聞社、
読売新聞中部支社 (50音順)

問合せ

名古屋市立大学事務局
学生課国際交流係

TEL 052-872-5067 (平日9:00～17:00)

e-mail ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp



地下鉄桜通線桜山駅(S11)3番出口より徒歩3分

スケジュール

- 10:30** **開会の言葉**
 理事長・学長 郡 健二郎
- 10:45** **難波 伸治**
 名古屋市総務局企画部長
 「名古屋市におけるSDGsの取り組み」
- 10:55** **春日 文子**
 国立研究開発法人国立環境研究所・特任フェロー
 フューチャー・アース国際本部事務局・日本ハブ事務局長
 東京大学未来ビジョン研究センター・客員教授
 「地球環境変化の中で健康をまもる
 —SDGsへの科学的貢献を通じて」
- 11:50** **頭金 正博**
 名古屋市立大学大学院薬学研究科 教授
 「食の安全を担保するための科学的な裏付け
 ~食品添加物のリスク評価を中心に~」
- 12:30** **閉会の言葉**
 理事 今泉 祐治



本学の実績

THE 大学インパクトランキング 2019

— SDGs別ランキング —
「すべての人に健康と福祉を」

国内1位！世界15位にランクイン！

(国内1/40位、世界15/421位)

— 総合ランキング —

国内4位！世界101-200位ランクイン！

(国内4/41位、世界101-200/462位)

THE 世界大学ランキング 2019

801-1,000位！

(国内同率25位)

地域貢献度ランキング 2017

東海地域 1位

持続可能な開発目標(SDGs)とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

外務省 JAPAN SDGs Action Platform 「SDGsとは？」より引用
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html#about_sdgs



開学70周年記念事業寄附金

明るい未来へ、七色の架け橋
 ~名市大の果てしなき挑戦~

このたび本学では、開学70周年を機に、開学100周年を見据え、世界をリードする大学を目指し、これからも多くの学生・研究者に選ばれる大学であり続けるよう、記念事業を実施することといたしました。「あなたの声援で大きく羽ばたく名市大」の実現に向けて、一丸となって取り組んでまいります。

寄附金についてのお問い合わせ先：総務課庶務係
 052-853-8005



Think about SDGs on Public Health and Bio-Diversity at Urban Environment in Asia

アジアにおける社会衛生環境・生物多様性保全のSDGsと都市問題

5th-6th December, 2019

Nagoya City University Hospital 3F Conference Hall

名古屋市立大学病院病棟・中央診療棟 3 階大ホール

Participants 対象者
Faculty members and students
from Partner Universities and NCU
本学および協定校の教職員・学生

Language
使用言語
English
英語

5th December 10:00-17:00

Opening Ceremony 開会 10:00

Discussion Session

- Hacettepe University Professor, Vice-President Burçin Şener
- Hallym University Professor, Dean Changik Jo
- University of Santo Tomas Professor, Vice-Rector for Academic Affairs Cheryl R. Peralta
- Prince of Songkla University Assistant Professor, Vice-President Thakerng Wongsirichot

Lecture Session 1 Health and Welfare 健康福祉 13:00

- Nagoya City University Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor IWAO, Takahiro
- Hallym University Professor Yu-Jin Paek
- Nagoya City University Graduate School of Nursing Associate Professor KANEKO, Noriyo

Lecture Session 2 Social Environment 社会環境 15:30

- Nagoya City University Graduate School of Economics Associate Professor TAMECHIKA, Hanae
- Prince of Songkla University Assistant Professor Thitworn Choosong
- Nagoya City University Graduate School of Humanities and Social Sciences Associate Professor SOGA, Sachiyo

6th December 10:00-17:00

Lecture Session 3 Health and Welfare 健康福祉 10:00

- Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences Professor KAMIJIMA, Michihiro
- Hacettepe University Professor A. Banu Ergöçmen
- Nagoya City University Graduate School of Natural Sciences Associate Professor OKUTSU, Mitsuharu
- Prince of Songkla University Associate Professor Hutcha Sriplung

Short Presentation / Poster Session ショートプレゼンテーション/ポスターセッション 13:30

Lecture Session 4 Nature Environment 自然環境 15:30

- Nagoya City University Graduate School of Design and Architecture Professor AOKI, Takayoshi
- University of Santo Tomas Assistant Professor Richard Thomas B. Pavia Jr.

Closing Remark 閉会 17:00



サテライト講演会 講演は日本語です

地球環境変化の中で健康をまもる —SDGs への科学的貢献を通じて—

医学研究科・医学部研究棟 11 階講義室 A

12月7日(土)

10:30 ~ 12:30

講演者: 春日文子



2030年に向けて
世界が共有した
「持続可能な開発目標」です

(国立研究開発法人国立環境研究所・特任フェロー)
(フューチャー・アース国際本部事務局・日本ハブ事務局長)
(東京大学未来ビジョン研究センター・客員教授)
学内講演者: 頭金正博 名古屋市立大学大学院薬学研究所教授

As Contact Point University... コンタクトポイントとして...

We have strong bond to promote educational and academic exchange as "Contact Point".

コンタクトポイント (海外拠点校) は留学生、研究者の受け入れ、派遣について、大学全体として大学間交流協定校の中でも、強い協力体制を整えている大学です。

海外拠点校 (2019年10月現在)

- | | |
|----|---|
| 主催 | 名古屋市立大学 |
| 後援 | 名古屋市、(公財)名古屋国際センター、朝日新聞社、中日新聞社、中部経済新聞社、日本経済新聞社名古屋支社、毎日新聞社、読売新聞中部支社 (50音順) |

問合せ先 名古屋市立大学 事務局学生課国際交流係

TEL 052-872-5067 (平日 9:00 ~ 17:00)

e-mail ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp



ハジェテペ大学 (トルコ)



ハルリム大学 (韓国)



サント・トマス大学 (フィリピン)



プリンスオブソングクラ大学 (タイ)